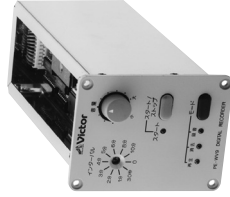
取扱説明書

目　次

ワイヤレスアンプ／デジタルレコーダー

型名 PE-W91/PE-WV9

PE-W91

PE-WV9

－お買い上げありがとうございます－
ご使用の前にこの「**取扱説明書**」と別冊の「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機の側面に製造番号が正しく記されているか、また、その製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

SS961408-002

特長

■PE-W91

- 定格20Wのハイパワーで放送が可能です。
- 2WAYスピーカー(20cmウーハー＋ツィーター)の採用により高音質を実現しています。
- オートリバース機構を備えた、スピードコントロール機構付きフルロジック式カセットデッキを搭載しています。
- 800MHzチューナーユニットを2台内蔵可能です。
- アンテナを本体に内蔵しています。
- $\alpha-\beta$アンテナによるダイバシティ方式の採用で受信デッドポイントを低減しています。
- 大容量ニカド蓄電池(4000mAh)を搭載可能です。
- デジタルレコーダー(PE-WV9)を搭載可能です。

■PE-WV9

- 語学のレッスン、街頭、店頭での売り込み等の繰り返し放送をする時に最適です。
- 繰り返しの間隔時間を設定できます。(0/0.5/1/2/3/4/5/6/8/10分)
- 頭出しが、素早くできます。

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意(警告を含む)を促す内容があることをお知らせするものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指を挟まれないよう注意)が描かれています。

分解禁止

⃠記号は、禁止の行為であることをお知らせするものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

電源プラグを抜く

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠警告

- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、又はブレーカーを切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードの継ぎ足しは火災や感電の原因となりますので、おやめください。
- セット内部に触れることは危険なうえ故障の原因となります。内部の点検・調整は販売店へお任せください。

- 本機は日本国内専用です。
  必ず商用電源AC100V 50/60Hzでご使用ください。

⚠注意

- 電池を機器内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕ とマイナス⊖ の向き)に注意し、機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池(バッテリーや乾電池)は使用しないでください。また、新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となることがあります。

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらずに、かならずプラグを持って抜いてください。
- 製品に悪い影響を与えますので、ほこりや振動の多い所には置かないでください。

- 傾いた所や弱々しい台など、不安定な場所には置かないでください。万一、落ちたり倒れたりすると大変危険です。
- 設置に際しては、本機の周囲(左右の側面、上面、背面)に20cm以上のスペースをとり空気の流通をよくしてください。

取扱い上のご注意

使用場所の環境について

●故障などを防止するため次の場所は避けてください。

- ・湿気やほこりの多いところ。
- ・極端に寒い所。
- ・磁気の発生する所。
- ・振動の激しい所。
- ・長時間直射日光が当たる所や暖房器のそば等。
- ・窓をしめきった自動車のなか(特に夏季)
- ・寒い所から急に暖かい部屋への移動。
- ・アンプやテレビのすぐそば、不安定な所。

使用ワイヤレスマイク

仕様欄に記載の適合ワイヤレスマイク以外では使用できません。

ワイヤレスマイクの到達距離は

内蔵のアンテナでの到達距離は見通し距離で、約30mです。

コンピューター機器等から離して

高周波電波を使用する機器やコンピューターを使用している機器などに本機を近づけますとノイズなどの影響を受けることがあります。このようなときは、ワイヤレスマイクと本機を近づけるか、本機の設置場所を変えてください。

壁や金属が入り込まないように

ワイヤレスマイクと、本機の間に壁や大きな金属(ロッカー等)が入りますと明瞭な放送ができないことがあります。このようなときは、使用場所を移動したりして、ワイヤレスマイクと本機が見通しのよい状態になるようにしてください。

テープ等は近づけないで

スピーカーは磁石を使用しています。スピーカーにテープを近づけないでください。

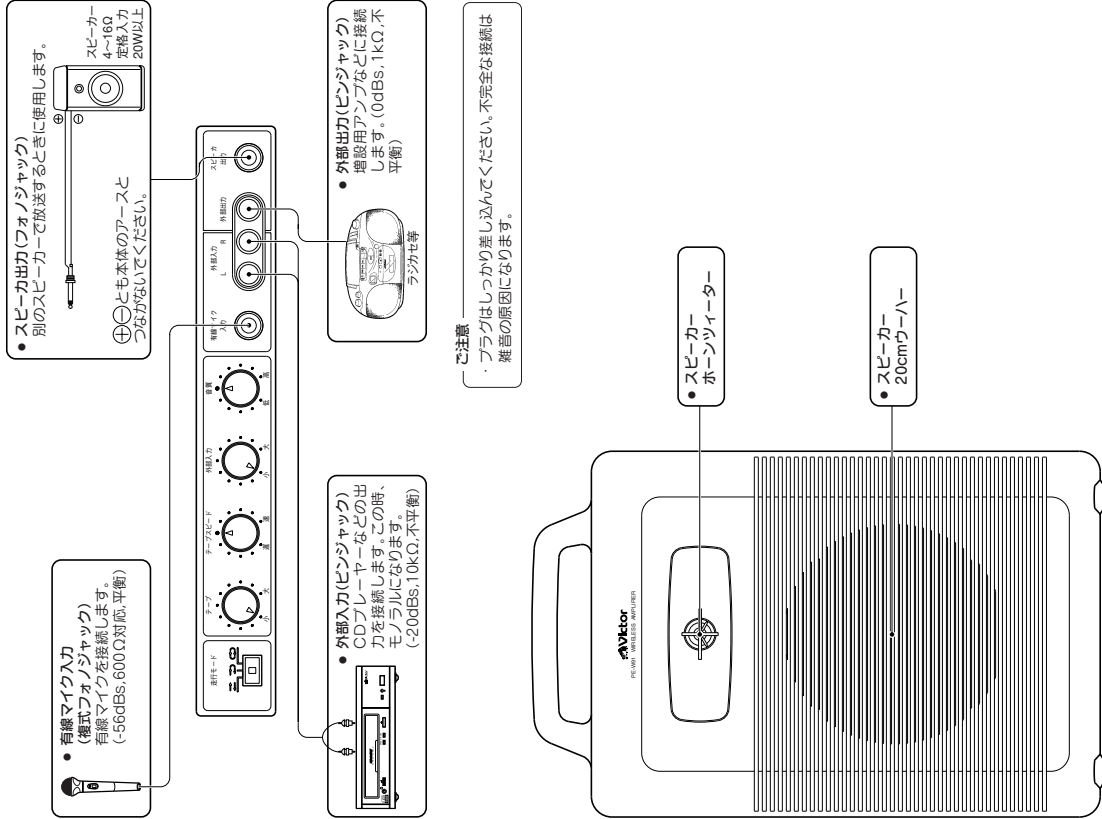
各部の名称と働き

－●内の数字のページに説明があります。－

- 受信表示ランプ❼⓫
  ワイヤレスマイク受信中に点灯します。
- 充電表示ランプ❻
  ニカド蓄電池充電中に点灯します。
- 電源スイッチ
- 電源表示ランプ
- 動作表示ランプ❽❾
  ○ 録音
  ▯▯ 一時停止
  ▷ 再生
  ◁ 再生
- 操作ボタン❽❾
  ○ 録音ボタン
  ▶ 再生ボタン
  ◀ 再生ボタン
  ◀◀ 早巻きボタン
  ▶▶ 早巻きボタン
  ■ 停止ボタン
  ❚❚ 一時停止ボタン
- カセットホルダー
- カウンター
  テープの走行量を表示します。
- リセットボタン
  押すとテープカウンターが"000"になります。
- 走行モード❾
  一方向モード
  往復モード
  エンドレスモード
- 電池収納部❻
  単1乾電池を8本入れます。
- 専用ニカド蓄電池収納部
- ニカド蓄電池端子❻
- 専用チューナーユニット（別売）組込部❿
  組込はお買い上げ販売店にご依頼ください。
- 音量調整つまみ❼❽❾
  有線マイク
  ワイヤレスマイク1,2
  外部入力
  テープ
  表示されている機器の音量を調節します。
  (使用していない音量つまみは最小に回しておいてください)
- ハンドル
- デジタルレコーダー（別売）収納部⓬
- 音質調節つまみ
  音質を調節します。中心のクリック位置で標準になります。時計方向（右）に回すと高音が、逆に回すと低音が強調されます。
- テープ再生速度つまみ
  カセットデッキの演奏速度を調節します。中心のクリック位置で標準速度になります。時計方向(右)に回すと速くなり、逆に回すと遅くなります。
- マイク収納部
- 電源コード（5m）
- 電源プラグ ※

※本機は、電源プラグが遮断装置です。本機を電源コンセントの近くに設置し遮断装置に容易に手が届くようにしてください。

接続のしかた

ご注意
・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。

電源について

AC電源でお使いになるときは

■裏ぶたをはずし、本体から電源コードを取り出して、家庭用コンセント(AC100V)につないでください。

■長時間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全および節電に心がけてください。

乾電池でお使いになるときは

■乾電池は単一形(SUM-1)を8本ご使用ください。

■乾電池の入れかた
- 電源スイッチを「切」にし、電源コードを抜きます。
- 裏ぶたをはずし、乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを本機の表示通り正しく入れてください。

■AC電源 ⟺ 乾電池電源の切り換えかた
電源コードをコンセントから抜くと乾電池電源に切り換わります。

■電池交換のめやす
- 使用中に電源表示ランプが点滅したときは乾電池が消耗しています。早めに交換してください。
- 電源表示ランプが点灯していても、出力により音が途切れることがあります。この場合も早めの交換をお勧めします。

乾電池について

乾電池の誤った使い方は「破裂」や「液漏れ」を招くことがあります。

- 使用上の注意
  1. 種類の違う乾電池(マンガンとアルカリ)を混ぜて使用しないでください。
  2. 乾電池を交換するときは、必ず8個全てを同時に行ってください。新品の乾電池と古い乾電池を一緒に使用すると、液漏れが発生することがあります。
  3. 乾電池を長期間(2週間以上)使用しない場合は、取り外してください。

  なお、乾電池の注意表示もよく見てご使用ください。

大切な録音のときや、長時間連続してお使いになるときは、AC電源でお使いになることをお勧めします。

ニカド蓄電池 NB-Z91(別売)でお使いになるときは

■ニカド蓄電池の取り付けかた
- 電源スイッチを「切」にし、電源コードを抜きます。
- 裏ぶたをはずし、ニカド蓄電池を収納し、ニカド蓄電池取り付けバンドで固定してください。電池のコネクタを、ニカド蓄電池端子に方向を合わせて接続してください。

■AC電源 ⟺ ニカド蓄電池電源の切り換えかた
電源コードをコンセントから抜くとニカド蓄電池電源に切り換わります。ニカド蓄電池と乾電池を併用して使用することもできます。その場合の使用可能な時間は両電池の寿命の合計時間となります。

■電池充電のめやす
- 使用中に電源表示ランプが点滅したときはニカド蓄電池が消耗しています。直ちに充電してください。
- 電源表示ランプが点灯していても、出力により音が途切れることがあります。このときも直ちに充電することをお勧めします。

■充電のしかた
電源スイッチを「切」の状態にし電源コードを差し込みますと、充電表示ランプが点灯し充電が始まります。

ご注意
・ニカド蓄電池を取り付けてから、最初に使用するときは必ず充電してください。
・完全充電するためには約12時間必要です。充電が完了しても充電表示ランプは点灯したままです。
・電源コードを差し込んでいても、電源スイッチが「入」の状態では充電されません。

ご注意
・不要になったニカド蓄電池は、資源を守るため廃棄しないでニカド蓄電池のリサイクルにご協力ください。
Ni-Cd
・本機以外の機器では絶対に充電しないでください。
・長時間(48時間以上)充電しないでください。
・長期間(2週間以上)使用しないときはニカド蓄電池のコネクタを外し、ニカド蓄電池を取り出してください。

ワイヤレスマイクで放送するには

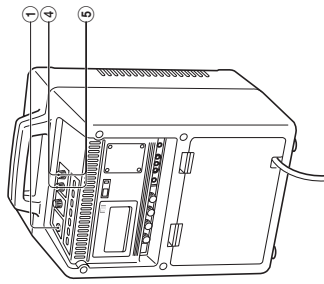
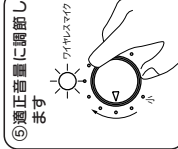
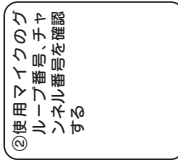
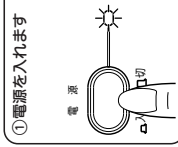
お客様へ
ワイヤレスマイク2本で放送するには、専用のチューナーユニットをもう一台本機に組み込む必要があります。チューナーユニットの組込については、お買上げ販売店にご相談ご依頼ください。(11ページ参照)

①電源を入れます

②使用マイクのグループ番号、チャンネル番号を確認する

③ワイヤレスマイクの電源を入れる

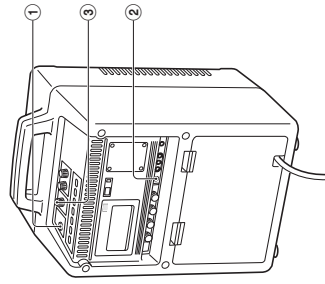
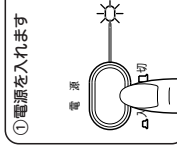
④表示ランプが点灯することを確認してください

⑤適正音量に調節します

ご注意
ワイヤレスマイクを移動しながら使用しますと、電波の干渉や反射等によって急に音がとぎれる場合があります(デッドポイント)。このようなときは、本機を1〜2m移動するか、設置場所の高さを変えてください。

有線マイクで放送するには

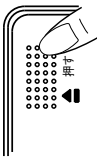
①電源を入れます

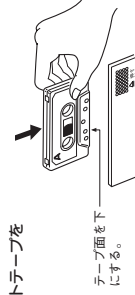
②有線マイクのプラグを有線マイク入力に差し込みます

③適正音量に調節します

ご注意
・マイクのプラグはしっかり差し込んでください。
・マイクロホンとスピーカーの距離を離してください。
お互いに近くでお使いになりますと、ハウリング(キーンという発振音)が起きやすくなります。万一、ハウリングが起きたときは、ただちに音量調節つまみを最小に回してください。このあとハウリングの起こらないことを確認しながら徐々に音量を上げてください。

カセットテープについて

カセットテープの入れかた

①"押す"表示部を押してカセットホルダーを開ける

②カセットテープを入れる

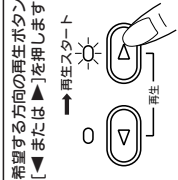
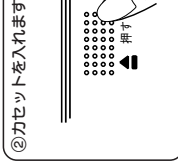
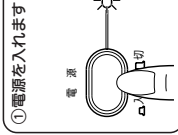
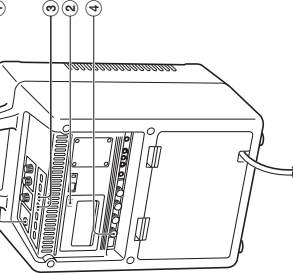
テープ面を下にする。

③カセットホルダーを押して閉める
このときカチッと音がするまで確実に押して閉めるようにしてください。

カセットテープの取扱いかた

- テープにたるみがありますと、巻き込んだり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにしてたるみを取り除いてください。
- テープを引きだしたり、テープ面にふれないでください。
- **C-120**タイプのテープは薄いため、巻き込んだりしやすいので、できるだけ使用しないようにしてください。
- ノーマルテープ以外(メタルテープやCrO_2テープ等)を使用しますと、聞きにくい音になりますので、使用しないでください。

矢印方向に鉛筆を回す。

ご注意
テープが走行中カセットホルダーは開きません。必ず停止させてから開くようにしてください。また、テープ走行中に電源を切った時もカセットホルダーが開きません。この場合、もう一度電源を入れ、停止させてからカセットホルダーを開けるようにしてください。

テープを聞くには

①電源を入れます

②カセットを入れます

③希望する方向の再生ボタン[◀ または ▶]を押します

④適正音量に調節します

- **テープを停止するには**
■ボタンを押します。
- **早巻きするには**
テープ停止中に
◀◀ボタンを押します。
▶▶ボタンを押します。
直前に再生していた方向と同じ方向の矢印ボタンを押すと早送りになります。また逆の方向の矢印ボタンを押すと巻き戻しになります。
- **一時停止するには**
❚❚ボタンを押します。
一時停止の状態で■ボタンを押すと停止になります。
点滅中の表示ランプの[◀ または ▶]ボタンを押すと演奏を再開します。

テープを聞くには（つづき）

頭出し　曲の頭出しをおこないます。

①カセットを入れ、◀ または ▶ボタンを押して再生する

②◀◀ または ▶▶ボタンで選曲する

▶方向で再生中

・今聞いている曲の頭出し

・次の曲の頭出し

◀方向で再生中

・今聞いている曲の頭出し

・次の曲の頭出し

③頭出しができると自動的に再生が始まります。

● 何曲か飛び越したいときは②と③を繰り返します。

走行モードについて

3つのモードのテープ走行があります。

①（一方向モード）
片道だけ再生や録音をし、テープの終わりで停止します。

②（往復モード）
往復の再生や録音をし、B面のテープの終わりで停止します。

③（エンドレスモード）
連続して再生します。ただし録音時は往復モードと同じ動作となります。

選曲中は◀または▶の表示ランプが点滅します。

再生

録音をするには

－目的の入力以外の音量調節つまみは必ず最小にしてください。－

自動録音レベル調節（ALC）方式です。

録音する音の音量調節つまみを上げすぎても、適正な音で録音されます。

①電源を入れます

電源　入　切

②録音用のカセットを入れます

③録音したい音の音量調節つまみを上げ、適正音量に調節します

外部入力　小　大

④○（録音）ボタンを押します

➡ 録音待機

録音　一時停止　再生

⑤点滅中の表示ランプの［◀ または ▶］ボタンを押します

➡ 録音スタート

再生

● 録音を停止するには
■ボタンを押します。

● 録音を一時停止するには
❚❚ボタンを押します。

録音一時停止の状態で

■ボタンを押すと停止になります。

点滅中の表示ランプの［◀ または ▶］ボタンを押すと、録音を再開します。

添付チューナーユニット（PEW91-UNIT）の組み込みかた

■チューナーユニットの組み込みは、お買上げ販売店にご依頼ください。

チューナーユニットの組み込みかた

①電源スイッチを「切」にし、電源コードを抜きます。

②本機の裏ぶたをはずします。

③左下すみにあるチューナーカバーをはずします。

④チューナーユニットを挿入し、奥のコネクタに確実に差し込んでください。

ご注意
チューナーユニットの上下をまちがえないようにご注意ください。

⑤チューナーユニットの左側についているリボンを隙間に差し込んでください。

このリボンは、チューナーユニットを取りだす時に使用します。

⑥チューナーユニット装着後は、チューナーカバーを元どおりに取り付けてください。

ご注意
チューナーカバーを取り付けないと、チューナーユニットがはずれます。

周波数の設定のしかた

①次ページの周波数表をもとに設定するグループとチャンネル番号を決めてください。

②小型の⊖ドライバーを用いて、設定スイッチの矢印をあらかじめ決めたグループおよびチャンネル番号の数字に設定してください。

③ワイヤレスマイクのグループおよびチャンネル番号をチューナーユニットと同じグループおよびチャンネル番号に設定してください。

設定方法は、ワイヤレスマイクの取扱説明書をご覧ください。

動作モードの設定のしかた

チューナーユニットの動作モードを設定します。

通　常：AC電源のご使用が多い時設定します。

省電力：乾電池、ニカド蓄電池のご使用が多い時設定します。（ワイヤレスマイクをご使用になっていない時、電池寿命がのびます）

小型のドライバーを用いて、設定してください。

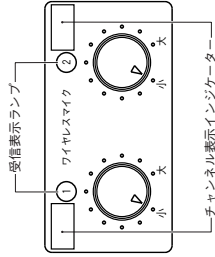
添付チューナーユニット(PEW91-UNIT)の組み込みかた(つづき)

■周波数表

グループ	チャンネル	呼　称	周波数(MHz)
1	1	B11	806.125
	2	B12	806.375
	3	B13	807.125
	4	B14	807.750
	5	B15	809.000
	6	B16	809.500
2	1	B21	806.250
	2	B22	806.500
	3	B23	807.000
	4	B24	807.875
	5	B25	808.500
	6	B26	808.875
3	1	B31	806.625
	2	B32	806.875
	3	B33	807.375
	4	B34	808.250
	5	B35	808.625
	6	B36	809.250
4	1	B41	806.750
	2	B42	807.500
	3	B43	808.000
	4	B44	809.125
	5	B45	809.375
	6	B46	809.750
5	1	B51	807.625
	2	B52	808.125
	3	B53	808.375
	4	B54	808.750
	5	B55	809.625
6	1	B61	807.250

受信表示ランプについて

- 電源投入時
  約2秒間点灯した後消灯します。
- 受信時
  点灯します。
- グループ/チャンネル設定が誤っている時
  点滅します。

> - 点滅している時は、グループまたはチャンネル設定スイッチを正しい位置にしてください。
> - それでも点滅している時は、お買上げ販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

チャンネル表示インジケーター(ラベル)について

本機に添付されている、チャンネル表示インジケーター(ラベル)を本機のパネル表面に貼り付けてご使用ください。ワイヤレスマイク1,2に接続したチューナーユニットに対し、貼りまちがいのないように注意してください。

ワイヤレスチューナーユニットWT-UD84の組み込みかた

■本機には、ワイヤレスチューナーユニット**WT-UD84**(別売)を更に一台組み込むことができます。
■チューナーユニットの組み込みは、お買上げ販売店にご依頼ください。

添付チューナーユニットの組み込みかたを参考に、①,②,③,④の順で**WT-UD84**を組み込んでください。

①チューナーユニットの組み込み

> ご注意
> 右下に **WT-UD84** を組み込んでください。

②周波数の設定

> ご注意
> 増設したチューナーユニットのグループ番号は、ワイヤレスマイク１のチューナーユニットと同じ番号に設定してください。チャンネル番号は、異なる番号に設定してください。

③動作モードの設定

④チャンネル表示インジケーター(ラベル)の貼り付け

各部の名称と働き

PE-WV9

- **インターバル設定スイッチ**
  再生時のリピート間隔を設定します。
- **動作表示ランプ**
  動作中点灯します。
  スタート
  再生
  消去
  録音
- **音量調節つまみ**
  音量を調節します。(使用していない時は、最小に回しておいてください)
- **スタート／ストップボタン**
  各モードのスタート／ストップに使用します。
- **モードボタン**
  再生／消去／録音モードの切り替えに使用します。

録音をするには

－目的の入力以外の音量調節つまみは必ず最小にしてください－

自動録音レベル調節(ALC)方式です。

録音する音の音量調節つまみを上げすぎても、適正な音で録音されます。

録音時間は、最大でおよそ３分30秒です。
録音チャンネルは、１チャンネルのみです。

①**電源を入れます**

電源　入　切

②**モードボタンを押して消去モードにします**

・モードボタンを押すごとに
再生→消去
ときりかわります。(録音済時)

③**スタート／ストップボタンを2秒以上押します。**
→消去を開始します。

・録音された時間により消去終了迄に最高約10秒程かかります。

> モードボタンを押して録音迄きりかわるときは消去済ですから②③を行う必要はありません。

④**録音したい音の音量調節つまみを上げ、適正音量に調節します。**

外部入力　小　大

⑤**モードボタンを押して録音モードにします。**

・モードボタンを押すごとに
再生→消去→録音
ときりかわります。(消去済時)

⑥**スタート／ストップボタンを押します。**
→録音を開始します。

・録音残量の約10秒前より録音表示ランプが点滅しますので録音を早めに切り上げてください。

⑦**録音を停止するにはスタート／ストップボタンを押します。**

・自動的に再生モードにきりかわります。

各部の名称と働き（つづき） PE-WV9

再生をするには

①電源を入れます

⑥再生を停止するにはスタート/ストップボタンを押します。

スタート/ストップ
スタート

②インターバルを決めます。
小型の⊕ドライバーを用いてインターバル設定スイッチをきりかえます。

・再生時のリピート間隔を設定します。
・変更のない時は、毎回行う必要はありません。

③モードボタンを押して再生モードにします。

再生　消去　録音　モード

・モードボタンを押すごとに
再生──→消去
ときりかわります。（録音済時）

④スタート/ストップボタンを押します。
→再生を開始します。

スタート/ストップ
スタート

⑤適正音量に調節します。

音量
小

デジタルレコーダーPE-WV9の組み込みかた

■デジタルレコーダーの組み込みは、お買上げ販売店にご依頼ください。
■組み込み作業の前に必ず電源スイッチを「切」にし、電源コードを抜いてください。

①カバー取付ネジ4本をはずし、カバーをはずします。

②カバーを外すと結線用コードがあります。コードをクランプからはずし、引き出します。

③結線用コードのコネクター（6P）を**PE-WV9**の背面コネクター（CN4）に差し込みます。コネクターは確実に差し込んでください。

④①ではずしたネジ4本で、**PE-WV9**を本体に取付けます。以上で作業は終了です。

お手入れのしかた

ヘッド部の清掃について

ヘッドやキャプスタン·ピンチローラーは長い間使っていると磁粉やゴミ、ホコリなどが付着してよごれてきます。よごれがひどくなると

- 音質が悪い。
- 音が小さい。
- 録音できない。
- 前の音が消えないで残る。

などの症状がでます。このようなときは、ヘッド部を清掃してください。

ヘッド部の清掃

ピンチローラ　キャプスタン　ピンチローラ
録再ヘッド　消去ヘッド

カセットホルダーを開け、クリーニングキットでヘッドやピンチローラー・キャプスタンの清掃をしてください。
綿棒にクリーナー液をしみ込ませヘッドやピンチローラー・キャプスタンなどの汚れをふきとります。なお、内部についたクリーナー液が十分に乾いてからテープをセットしてください。
詳しくは、クリーニングキットの説明書をご覧ください。

ヘッドの消磁

長い間本機を使っていると、ヘッドが磁化されて高音が聞こえにくくなったり、雑音が増えることがあります。
このようなときは

ヘッドをヘッド消磁器で消磁してください。

詳しくは、ヘッド消磁器の説明書をご覧ください。

キャビネットの清掃

キャビネットやパネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。

故障かな？と思う前に

－おや？故障かな？と思ったら……
修理を依頼される前にちょっとお確かめください。

症　状	原　因	処置・確認のしかた	参照ページ
電源が入らない。	● 電源コードが抜けている。	● 電源コードを確実に差し込む。	❻
	● 電池が入っていない。	● 乾電池を入れる。	
	● 電池が消耗している。	● 新しい乾電池と交換する。 ● ニカド蓄電池を充電する。	
再生音が小さい。	● 録音レベルが小さい。	● 各音量つまみをセンター以上に回し録音する。	❾
	● ヘッド部が汚れている。	● ヘッド部を定期的に清掃する。	⓮
録音できない。	● カセットの誤消去防止用ツメが折れている。	● 誤消去防止用ツメ付きのカセットテープをご使用ください。	❾
スピーカーから音がでない。	● 電池が消耗している。	● 新しい乾電池と交換する。 ● ニカド蓄電池を充電する。	❻
マイクの音がでない。	● マイクコードが抜けている。	● マイクコードを確実に差し込む。	❼
ワイヤレスマイクの音がでない。	● 適合ワイヤレスマイク以外を使用している。	● 適合ワイヤレスマイクを使用する。	裏表紙
	● ワイヤレスマイクの電池が消耗している。	● 新しい乾電池と交換する。	－
	● 違うチャンネルのワイヤレスマイクを使用している。	● ワイヤレスマイクと本機のチャンネルを合わす。	❿
カセットが動かない。	● 電池が消耗している。	● 新しい乾電池と交換する。 ● ニカド蓄電池を充電する。	❻
デジタルレコーダーが録音できない。	● 消去されていない。	● 消去を行う。	⓬

著作権について

あなたが放送やレコード、その他の録音物から録音したものや、他人の講演などを録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

● 放送コード、レコード、その他の録音物や他人の講演などは、音楽の歌詞・楽曲と同じく著作権法により保護されています。従って、個人使用の範囲を超えて、それらをテープに録音して、販売・レンタル・譲渡したり、営利のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

● 詳しい内容や、著作物に関する許諾のための手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部へお尋ねください。

日本著作権協会

本部	☎03(3502)6551
北海道支部	☎011(221)5088
盛岡支部	☎0196(52)3201
仙台支部	☎022(264)2266
大宮支部	☎048(643)5461
東京支部	☎03(3562)4455
西東京支部	☎03(3232)8301
横浜支部	☎045(662)6551
静岡支部	☎054(254)2621
中部支部	☎052(586)1155
北陸支部	☎0762(21)3602
京都支部	☎075(251)0134
大阪支部	☎06(244)0351
神戸支部	☎078(322)0561
中国支部	☎082(249)6362
四国支部	☎0878(21)9191
九州支部	☎092(441)2285
鹿児島支部	☎0992(24)6211
那覇出張所	☎098(863)1228

保証とアフターサービスについて

保証の記載内容ご確認と保存について
この商品には、保証書を別途添付しております。保証書はお買上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間について
保証期間は、お買上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買上げ販売店が修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について
保証期間経過後の修理については、お買上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理致します。

アフターサービスについてのお問い合わせ先
その他アフターサービスについてご不明の点は、お買上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるとき
修理を依頼されるときは、お手数でももう一度、各部の接続についてお調べください。それでも具合が悪いときは、ACコンセントを抜いて、次のことをお知らせください。

- 機種名：**PE-W91,PE-WV9**
- 故障の状態をできるだけ詳しく
- ご購入年月日　ご住所　ご氏名　電話番号

省エネルギーについて

節電のため、使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

商品の廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適切に処理してください。

仕様 ※本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

■PE-W91

電源	AC100V 50／60Hz、単一乾電池(SUM-1)x8、ニカド蓄電池NB-Z91
消費電力	電気用品取締法　29W、AC54W(20W出力時)、DC1.8A(8W出力時)
最大出力	25W／4Ω(AC時)
定格出力	20W／4Ω(AC時)、8W／4Ω(DC時)
ニカド蓄電池充電方式	0.12CmA普通充電(12時間充電)
電池寿命	
マンガン乾電池	連続約3時間(拡声6Wトーンバースト、ワイヤレスマイクx1、カセット使用時)
アルカリ乾電池	連続約10時間(拡声6Wトーンバースト、ワイヤレスマイクx1、カセット使用時)
ニカド蓄電池	連続約6時間(拡声6Wトーンバースト、ワイヤレスマイクx1、カセット使用時)
周波数特性	50Hz～15kHz、外部スピーカー出力／4Ω(外部入力、定格より－10dB出力時)
歪率	5%以下(1kHz、20W／4Ω、AC時)
S／N	70dB以上(外部入力、定格出力比)
有線マイク入力	－56dBs、電子平衡、複式フォノジャック、適合マイクインピーダンス600Ω
外部入力	－20dBs、10kΩ以上、不平衡、ピンジャックLR
外部スピーカー出力	4～16Ω、フォノジャック(プラグ差込で内部スピーカーをカット)
外部出力	0dBs、1kΩ以下、不平衡、ピンジャック
ワイヤレス部	
受信周波数	800MHz(806.125～809.750MHz、125kHzステップ30チャンネル)のうち1波を選択
受信方式	ダイバシティ・ダブルスーパーヘテロダイン
アンテナ方式	内蔵ダイポールアンテナ
受信感度	20dBμV(変調1kHz、偏移±5kHz、S／N30dB)
S／N	50dB以上(変調1kHz、偏移±5kHz、60dBμV入力)
適合ワイヤレスマイク	当社製800MHzワイヤレスマイク
カセット部	
トラック方式	2トラック1チャンネルモノラル
録音方式	交流バイアス方式
テープ速度	4.76cm／sec
ワウ・フラッター	0.2%WRMS
巻き戻し、早送り時間	約120秒(C-60テープ使用時)
動作温度	－5～＋40℃
外形寸法	幅320x高さ500x奥行200mm
質量	約6.8kg(電池、デジタルレコーダー含まず)
仕上げ	ライトグレー

添付物
- 添付チューナーユニット(PEW91-UNIT) x1
- チャンネル表示インジケーター(ラベル) x1
- 保証書 x1
- ビクターサービス窓口案内 x1
- 安全上のご注意 x1

■PE-WV9

音声方式	4ビットADPCM
録音時間	約3分30秒
入力	－10dBs／47kΩ以上、不平衡、基板コネクタCN4
出力	－10dBs／1.5kΩ以下、不平衡、基板コネクタCN4
周波数特性(録再)	50～3000Hz　+3,-6dB
歪率1kHz(録再)	5%以下
S／N(録再)	46dB以上
再生インターバル	0／0.5／1／2／3／4／5／6／8／10分
消費電流	DC9V／90mA
外形寸法	幅72x高さ92x奥行164mm(突起物含まず)
質量	約0.35kg
仕上げ	グレー

添付物
- 保証書 x1

お客様ご相談センター
東京
☎ (03)5684-9311［代表］
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル
大阪
☎ (06)6765-4161［代表］
〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

Victor JVC
日本ビクター株式会社
システム事業部
〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　電話（0426）60-7243［ダイヤルイン］

SS961408-002